

JAPAN ART COLLECTIONとは？

日本詩歌を伝え広めるという行為は、『日本語の美しさ』を伝えることに留まらず、『日本の美』さらには『日本人の美意識』そのものを伝えることにも繋がります。『JAPAN ART COLLECTION』は、詩歌活動の魅力の世界各国へ伝えていくとともに、詩歌活動を通じて文化の相互理解、さらには詩歌活動の国際化向上を目的として開催しています。

Japan
Art
Collection

～世界各国で称賛を浴びる

「JAPAN ART COLLECTION」～

JAPAN ART COLLECTION は、2008年5月にチェコ共和国プラハ国立美術館ヴェレトゥルジュニー宮殿にて第1回が開催されました。世界的至宝であるピカソやセザンヌの作品を収蔵する同館に並んだ約250点の日本の美術・文芸作品は、非常に高い評価を得て、3日間で1万人以上の来場者数を記録。日本の文化・芸術を通じた国際交流の場の創出には称賛の声が集まり、その後ブダペスト、ザルツブルク、ミュンヘンにて開催しました。



「WORKS」 代表的な作品

JAPAN ART COLLECTION in PRAGUE プラハ

会場はチェコのヴェレトゥルジュニー宮殿。19世紀から現在までの近現代美術が収蔵されている国立美術館です。俳句や短歌の詩歌作品を、チェコの有名ガラスメーカー、エーゲルマン社のボヘミアングラスをはじめ、日本の伝統美術である江戸切子や高岡漆器などに刻み込むコラボレーション作品の展示を行いました。

【会期】2008年5月16日(金)～18日(日)

【会場】チェコ共和国プラハ国立美術館
ヴェレトゥルジュニー宮殿



JAPAN ART COLLECTION in BUDAPEST ブダペスト

悠々と流れるドナウ川の両岸に市街地が広がるブダペストの「マジャル・クルツラ・アラピートワーニ」という文化施設で行われました。文芸作品やフラワー、ジュエリーを展示し、作品を鑑賞した現地の方からは「セイブ！」(ハンガリー語で“美しい”)ということばや、驚きの声をいただきました。

【会期】2008年6月28日(土)～30日(月)

【会場】マジャル・クルツラ・アラピートワーニ

JAPAN ART COLLECTION in Salzburg ザルツブルク

モーツァルト誕生の地として名高い、ザルツブルクにて開催しました。モーツァルト管弦楽団のメンバーやギャラリスト、アーティストといった芸術に造詣の深い方から、美術鑑賞ははじめてという若者まで、幅広い世代の方の足を運んでいただきました。普段触れる機会の少ない日本の芸術作品一点一点に、来場者からは感嘆と称賛の声が上がりました。

【会期】2009年4月6日(月)～11日(土)

【会場】ザルツブルク(オーストリア)



JAPAN ART COLLECTION in Munich ミュンヘン

ヨーロッパ文化の中心地のひとつとして数えられる、ドイツ・ミュンヘンのレジデンツにて開催しました。堂々とした外観と豪華な装飾の展示会場では、俳句や短歌を有田焼、輪島漆器、東京銀器などの日本の伝統工芸品やドイツ磁器工房のライヒェンバッハに載せて展示し、好評を得ました。ドイツ人による俳句・短歌のコンクールには、600作品以上の応募を受け付けました。

【会期】2009年5月30日(土)～6月1日(月)

【会場】レジデンツ(ミュンヘン)



過去の実績

●過去の開催実績

2004年2月 フランス共和国(パリ)・カルーゼル・ドゥ・ルーブル

「フランス・パリ・美の解放展」

2004年11月 スペイン(バルセロナ)/パトリヨ邸

「バルセロナ国際ビエンナーレ」

2006年5月 エクス・アン・プロヴァンス・サントル・ドゥ・コングレ

「エクス・アン・プロヴァンス芸術祭 美の源泉展」

2006年6月 ロシア連邦(サンクトペテルブルグ)/ロシア連邦国立展示場マネージュ

「サンクトペテルブルグ国際芸術祭～白夜の未来遺産展～」

2007年4月 イギリス(ロンドン)/バンクサイドギャラリー

「倫敦国際文芸展～心の出会いとつながり～」

2008年5月 第1回

JAPAN ART COLLECTION IN Prague (チェコ・プラハ)

2008年6月 第2回

JAPAN ART COLLECTION IN Budapest (ハンガリー・ブダペスト)

2009年4月 第3回

JAPAN ART COLLECTION IN Salzburg (オーストリア・ザルツブルク)

2009年5月 第4回

JAPAN ART COLLECTION IN Munich (ドイツ・ミュンヘン)

来場者の声

●この展覧会は、私が日本を説明できる以上の事を見ることが出来る。芸術家の人たちは、線や、形や、色や、ことばによって、彼らの人生を表現していると思う。短歌と俳句とコラボレーションしている写真は、素晴らしい!!! (「inミュンヘン」30代・女性)

●とても興味深い世界。私が思うにヨーロッパ人にとってこれらの作品を理解することは初めは難しいかもしれない。いろいろな分野の芸術、色、音楽、絵画、要素、悩み、苦しみ、喜びがとても新しく表現されている。(「inミュンヘン」40代・男性)